



＝ 修了式「式辞」新年度に向けて「上級生としての自覚」を持とう ＝

1・2年生は一部の代表生徒以外は、先日行われた「卒業式」に参列してもらうことができなかったもので、卒業式の式辞について話したいと思います。

<卒業式の式辞より抜粋>

卒業に際し、一つだけ君達に伝えておきたいことがあります。

それは、昨年サッカーの世界カップで大活躍した「日本代表の選手達の活躍」についてです。優勝候補の一角であるスペインやドイツに勝利した事や、予選リーグを突破した事がすごいのは言うまでもありません。

皆さんに知っておいて欲しいのは、「三苦の一ミリ」に象徴されるように、「最後の最後まで、味方や自分を信じて諦めない姿勢」です。予選リーグの三試合で、快勝出来た試合は一試合もありませんでした。勝利できた二試合とも前半はチーム一丸となって組織的に守備に集中して、後半に流れを掴み一気に逆転して勝ち切るというパターンでした。

決勝トーナメントの一回戦では、惜しくも三位になったクロアチアに同点PKの末に敗れてしまいましたが、このカタル大会での試合内容が、今後の日本サッカー界にとって大きな大きな自信となった事はまぎれもない事実です。

努力しても、必ずしも直ぐに結果に結びつくとは限りませんが、目標を達成するためにしてきた努力は、その後、必ずその人の人生に生きてくるのです。「夢をかなえるために、無駄な努力はありません！あきらめない強い気持ちを持ち続けて下さい！」

いかなる困難に直面しても、日本代表の選手達のように「夢を持ち続け」「前向きに」「ポジティブ」に考え、努力し続けることができれば、素晴らしい人生をおくれるはずですよ。要は、自分自身の心の持ちようで、今後の人生は大きく変わっていくということを感じておいて下さい。

ここまでの、卒業式「式辞」で最も伝えたかった内容です。「式辞」で取り上げた内容を今最も身近に実感させてくれているのが、2日前に「有終の美」を飾ったWBCの「侍ジャパン」の粘りと活躍です。特に準決勝でのメキシコ戦では、先制されやっとな追いついたとたんに、突き放され、それでも1点差までに迫り4対5で迎えた最終回での逆転サヨナラ勝ち。そして、決勝でのアメリカ戦でも、大接戦の末にチーム一丸となって勝ちきりました。

サッカーワールドカップもWBCの「侍ジャパン」も共に共通していたのは、自分自身や味方を最後まで信じて諦めない強い気持ちを持ち続けたことです。どうか皆さんも感動するだけで終わらせず、見習って実践して行って下さい。

4月から2年生は新3年生に進級するので「最上級生としての自覚」を、1年生は新2年生に進級するので「先輩としての自覚」を持ち行動しましょう。期待していますので新入生をリードして、素晴らしい柏原中学校にしていって下さい。

また、春休み中も感染症対策はもちろんのこと、健康管理にはくれぐれも気を付けて生活し、元気な笑顔で新年度に登校してきて下さい。

＝ 3月19日(日)大県本郷線のアンダーパス開通記念式典が開催されました ＝

晴天の下、3月19日(日)13:30～「大県本郷線のアンダーパス開通記念式典」が盛大に開催されました。そこで、八尾土木事務所や柏原市の要請を受けて、本校「吹奏楽部」が協力し、式典に花を添えてくれました。内容としてはファンファーレや記念演奏として「栄光の架け橋」「にじいろ」、そして通り初めの際のBGMとして「できっこないを やらなくちゃ」を演奏してくれました。吹奏楽部の皆さん本当に有難うございました。<後日、広報「かしわら」にも掲載される予定です。>

また、このアンダーパス開通に伴い、柏原中学校前の歩道も拡張整備されました。今後は可能な限り、踏み切りの横断を避けてアンダーパスを活用するように心掛けて下さい。



*** このアンダーパスの車道は、自転車通行不可です。**

また歩道では、自転車は手押しで通行しなければいけないことになっ

ていますので、くれぐれも注意して下さい。